



# 大阪大学の全学共通教育

大阪大学の1年生全員が豊中キャンパスで全学共通教育科目を学びます

大阪大学の教育の基本は、学問の真髄を極める「**専門性**」の獲得に加え、幅広い見識に基づく確かな社会的判断力としての「**教養**」、異なる文化的背景をもつ人と対話できる「**国際性**」、自由なイマジネーションと横断的なネットワークを構想する「**デザイン力**」を備えた人材の育成です。

入学から卒業まで、専門、教養、国際性を切れ目ないカリキュラムで学びます。



## 教養教育

様々な角度から物事を見ることができる能力や、総合的思考に基づいて、的確に判断する能力を身に付ける教育

## 専門教育

学部・研究科において提供される特定分野での学識及び能力を身に付ける教育

## 国際性涵養教育

多様な言語の運用能力及び世界の多様な歴史、文化、社会、科学等についてのグローバルな理解にもとづく国際性を涵養する教育

全学部生が共に学び、授業を通して複眼的な視点と俯瞰的な視野を培うのが全学共通教育です。そのために、幅広い領域をカバーする科目と、学びやすい環境を用意しています。主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、授業は講義型だけではなく、対話型・体験型・フィールドワーク型・eラーニング型といったさまざまなスタイルで行われます。

このパンフレットでは、大阪大学の全学共通教育の特徴である「学問への扉」について詳しく説明しています。

# 基本を学び、先端に触れる幅広い全学共通教育

## 教養教育

学問への扉 「マチカネゼミ」	研究者との直接対話によって喚起される学びへの意識の変化と、様々な分野の研究に触れることによる専門分野への視野の広がりを得て、高等学校までの受動的で知識蓄積型の学びから、主体的で創造的な学びへの転換をはかる少人数クラスの科目。
基盤教養教育科目	学問の先端で生み出されている研究成果をわかりやすく講じ、知的営みの魅力や新たな知の地平を切り開く感動を伝え、教養を広げるとともに、知的世界に誘う。また、現代社会が抱える諸問題に関心を抱かせ、それらの解決にかかる意欲を湧かせるとともに、そのために必要となる基礎的素養、知識、能力の修得を目的とする科目。 人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目、総合型科目
情報教育科目	高度情報化社会の構成員としての大学生にふさわしい、情報社会・情報科学の原理、本質、価値、可能性、限界等を理解し、これを使いこなす対応力を修得する科目。 大学の情報環境、図書館ガイダンス、インターネット社会における問題、情報セキュリティ、アルゴリズムとプログラムなど
健康・スポーツ 教育科目	運動やスポーツの科学的知識に基づく実践および健康に関する知識の習得・実践を通じて、問題解決能力、多様な視点に基づく柔軟性、持続可能な未来を築く力、生涯にわたる身体活動の実践力を育むとともに、リーダーシップ、コミュニケーション力、表現力、自己管理能力、ヘルスリテラシーを含む自己形成力を備えた人材を育成する科目。 スマート・スポーツリテラシー、スマート・ヘルスリテラシー
高度教養教育科目	専門分野以外にも視野を広げ、複眼的かつ俯瞰的な視点を持った人材を育て、修得した知識を社会における課題解決に応用できる能力(高度汎用力)を養成する科目。 他学部等が開講する専門教育科目、コミュニケーションデザイン科目など
アドヴァンスト・ セミナー	学問への扉「マチカネゼミ」を履修した学生対象。担当教員や学生が設定したテーマについて少人数で学習し、学生の主体的な学習をさらに促すフィールドワーク、インターンシップやセミナー等のアクティビティを含む科目。

## 国際性涵養教育

マルチリンガル 教育科目	世界各地の言語と文化についての幅広く深い理解に基づく実践的な語学能力を修得することで、国際化に対応するコミュニケーション能力を養うための科目。	第1外国語 総合英語：アクティブラーニング等の少人数対面授業 実践英語：eラーニングによる自律的学習の授業
		第2外国語 ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、日本語(留学生対象) ※学部により指定があります
		選択外国語(文学部、人間科学部 対象) 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、ギリシャ語、ラテン語
		グローバル理解 国際コミュニケーション演習、地域言語文化演習、特別外国語演習、多文化コミュニケーション(留学生対象)

## 専門教育

専門基礎教育科目	専門科目を学ぶための基礎を身につける科目群。専門領域の基礎的概念を理解する科目と、それらに関連する科目とに分かれます。
専門領域の中核的な科目(各学部別)	

※上の表の青枠白字の科目は、全学共通教育として、全学生が共通して学びます。本表以外にも多様な科目を提供しています。



### eラーニングと個人用ノートパソコンについて

キーボードとWiFi無線接続機能、本体に内蔵スピーカー及びマイクを有する個人用ノートパソコンを利用する授業もありますので、教員の指示があった場合は、ノートパソコンを持参できるよう各自準備してください。詳細は大学HPをご覧ください。

入  
学

卒  
業

# 学問への扉 – 愛称「マチカネゼミ」 –

この科目は、1年次の初めに、異分野の学生とも接し、異なったものの見方や課題解決の道筋を意識することで、「教養教育」の出発点をなす必修科目です。

## ◆「学問への扉」の履修により期待される効果

- ① 研究者との直接対話によって喚起される学びへの新たな意識
- ② 専門とする分野以外の研究に触れることによる専門分野を見る視野の広がり
- ③ 入学直後に他学部の学生、他分野の先生と密に接する体験が育む分野の壁を超える学習意欲の向上

専門性、教養、国際性、さらにそれを統合するデザイン力を備えた人材を育成する教育の出発点として、学問的探求活動を通じて問題の本質を見極め解決のための手だてを考える教育を行い、大阪大学での学び（「教養教育」「専門教育」「国際性涵養教育」）の導入科目として位置づけます。

## ◆学部・学科により履修できる曜日時限が異なります

学部・学科ごとの配当曜日時限（学部・学科・専攻ごとに履修可能な曜日時限が2か所あります。）<sup>※1</sup>

学部	曜日時限	月5	火5	水2	水3	水4	水5	金5
文学部				文		文		
人間科学部		人科			人科			
法学部			法	法		国公	国公	
経済学部							経済	経済
外国語学部 <sup>※2</sup>	中国/インドネシア/タイ/ビルマ/ドイツ/フランス/スペイン/ポルトガル	朝鮮/インドネシア/ウルドゥー/アラビア/トルコ/デンマーク/スウェーデン/ドイツ/日本(留学生)	中国/タイ/スウェーデン/スワヒリ/フランス/日本(留学生)	モンゴル/フィリピン/インドネシア/アラビア/ロシア/ハンガリー/デンマーク/英/スペイン	朝鮮/ベトナム/ウルドゥー/ペルシア/ロシア/ビルマ/英/イタリア	フィリピン/ベトナム/ハンガリー	モンゴル/インドネシア/ペルシア/トルコ/スワヒリ/イタリア/ポルトガル	
医学部(医)		医			医			
医学部(保健)			検査	放射線/検査		看護/放射線	看護	
歯学部				歯		歯		
薬学部					薬		薬	
理学部	物理/化学/生物	数学	化学					数学/物理/生物
工学部	電子情報 地球総合	応用自然 環境・エネ	地球総合			応用理工 環境・エネ	応用理工	応用自然 電子情報
基礎工学部		システム	化学応用 情報	電子物理 システム 情報		電子物理 化学応用		

※1 原則、豊中キャンパスでの開講クラスですが、一部、吹田キャンパスでの開講クラスがあります。吹田開講クラスは、キャンパス間の移動が必要なので、そのクラスの開講時限及びその前後の時限に豊中で開講されている科目を履修しない場合に限り、学部・学科問わず履修できます。

※2 外国語学部日本語専攻（留学生以外）の学生は、専攻言語の曜日時限で履修してください。（例：専攻言語が「中国語」の場合、「中国」に対応する「月5」と「水2」が配当曜日時限です。）

## クラスは抽選で決まります



- 履修したいクラスを選び希望順位を付けて登録を行います。
- 豊中開講クラスは、第8希望まで全て埋めなければ登録を完了できません。
- 吹田開講クラスは、履修可能な場合のみ豊中開講クラスに加えて登録ができます。
- 抽選の結果、希望していないクラスに配属されることもあります。

※入学までにシラバス（授業計画）に書かれている授業内容をネットから確認し、履修したいクラスとその希望順位を決めておいてください。（シラバスの参照方法は、『履修の手引』をご覧ください。）

**履修登録は、学務情報システム(KOAN)からネット上で行います。**

# 2026年度 学問への扉 クラス一覧(曜日時限ごとのサブタイトル)

## 「学問への扉」クラス一覧(2026年度)

豊中開講 (※学部・学科・専攻により配当曜日時限が異なります。)							吹田開講
月5	火5	水2	水3	水4	水5	金5	(※吹田開講クラスは、キャンパス間の移動が必要なため、そのクラスの開講時限及びその前後の時限に豊中で開講されている科目を履修しない場合に限り、学部・学科問わず履修できます。)
比較文学入門 越境する物語の世界	東アジア古代史入門	西洋史入門	言語研究への誘い	日常言語の哲学に触れる	日本語からのぞく言語研究	近代音楽史への道	
言語の多様性を考える	哲学対話入門	戦後日本史入門	アメリカ演劇研究入門	宣教師がみたキリシタン時代の日本	社会の中のことば	近代フランスの歴史と社会	
ポルトガル語圏の文化と文学	アイデンティティの政治と多文化性	台湾研究入門	ことばと文化のデータサイエンス：デジタルヒューマニティーズへの扉	言語記述への誘い	太平洋島嶼部から核と気候変動について考える	横書きの詩を縦書きに訳すー現代詩翻訳入門	月5
イタリアの文化と社会入門	大学について考える	外国にルーツを持つ子どもたちについて考える	ことばと文法の世界への誘い	世界の言語、言語の世界	ことばについて考える	多様な日本語の文法記述	臨床検査で体を知ろう
社会と生命倫理	認知・行動変容入門	気候変動と日常生活	行動観察入門	社会哲学入門	キャンパス周辺の安全	法学入門	水2
比較・国際教育入門	教育人間学入門	ここから始める政治哲学	大学での学び入門	阪大での安全な学生生活に役立つ防災を学ぶ	社会規範を考える	イギリス経済の歴史	看護実践開発科学入門
環日本海諸港の日露関係史	持続可能な開発のための経済学	国連による平和の作り方	動画配信サービスと競争政策	江戸時代の大坂を探求する	法と政策	知識と文化の経済地理分析	金5
民法の歴史	マクロ経済入門	関西のドキュメンタリーから法と社会を考える	生と死を考える	人を動かす仕掛けの仕組み	経済学入門	神経科学の基礎から病気まで	内科学～過去から未来へ～①
医学生物学研究は医療に役立つのか？	生殖細胞入門	生命現象を支える“タンパク質”の働きとは？	感染症と免疫	日本語教育入門	日本語教育と異文化理解	腫瘍学入門	内科学～過去から未来へ～②
自分を食べて生き延びる -オートファジーとはなんだろう？	口の健康を支えるマテリアルサイエンス	予防医学への招待	放射線技術科学への誘い	薬を知ろう	映画や文学にみる医学	神経・身体情報科学へのいざない 中枢神経系から運動器の制御まで	内科学～過去から未来へ～③
それって10の何乗？	顔面と口の構造とはたらき	わたしたちの暮らしと放射線	創薬科学への扉①	創薬科学への扉③	自己組織化と発生・再生	保健学の実践と研究	医学概論 1
生命とは何か？：宇宙・地球・生物を通して考えよう！	数理モデルと微分方程式	化学フロンティアV(量子の世界への誘い)	創薬科学への扉②	創薬科学への扉④	持続可能な開発目標 (SDGs)	理論物理学の最前線	医学概論 2
化学フロンティアⅦ (生物活性分子の合成・抽出・はたらき)	数学への挑戦	化学フロンティアⅡ (分子を分ける・測る / 放射能を測るー分析化学と放射化学のフロンティアー)	群論と代数的図形の対称性	体験する科学ー電気と磁気で世界をのぞくー	確率論について考える	物性物理学入門：電子をあやつる！	放射線医学入門
生物ネタについて語り合おう！	読んで話して College Math	化学フロンティアⅨ (プラスチックの行方考える)	化学フロンティアⅠ (色から始まる金属元素の化学)	文学における科学	固体中におけるミクロ・マクロな物理現象	地球科学入門	外科学の魅力
阪大の生きものに生物多様性を学ぶ	化学フロンティアⅢ (熱・エントロピー・物質)	我々の暮らしを支える「材料とエネルギー」の科学	ダイナミックな生命の科学	化学フロンティアⅧ (高分子の世界～身の回りの化学から最先端研究まで～)	化学フロンティアⅥ(身の回りの有機化学とその夢)	動物のしくみ vs 植物のしくみ	小児外科の世界
バイオテクノロジーと産業 1	製品設計における画期的アイデアの発想支援	化学で救う地球の未来	有機材料の電子デバイスや生体材料への応用	身近な化学物質の機能や特性を探る	流れを見る / 流れを知る (流体力学入門)	建築・町を見る	究極の生体管理を目指して～麻酔・救急・集中治療医学への誘い～
月曜午後の応用物理	環境にやさしい材料の設計	ものづくり工学入門Ⅰ	サイバーセキュリティ入門	水曜午後の工学系物理	バイオテクノロジーと産業 2	分子を題材に大学化学の基礎知識と、科学情報の入手技術・プレゼンテーション技術を習得	耳鼻咽喉科入門
金属の物性	身の回りのセキュリティ	自然放射線の測定と人体への影響解析	ナノスケールの熱とエネルギー：量子力学で読み解く物質の世界	機械情報システム入門	AIはどのようにして超音波を聴くか？	流れとかたち～相似則をとおして考える	整形外科学入門
パワーレーザーで極限の世界へ	ディスプレイ・照明デバイスの過去・現在・未来	環境工学入門Ⅰー都市環境問題を考える	ものづくり工学入門Ⅱ	防災環境都市づくりへのアプローチ	プログラミングロボットを動かしてみよう	ものづくり工学入門Ⅲ	泌尿器科学入門
船と波の科学	自然放射線の測定とエネルギー需要予測	複雑系で読み解く人間社会	社会基盤工学入門	待ち行列理論入門	先端材料と機能化プロセス	イノベーション / リーダーシップ入門	口の感染症から学ぶ
フューチャー・デザインー持続可能な未来社会とイノベーションを考える	建築・町を見る	メカトロニクス入門 A	身体性ロボティクスと生体模倣	物質・情報・ロボティクスが拓く未来のモノづくり	地球環境データ解析入門	環境工学入門Ⅱー地球環境問題を考える	“口腔”から読み解く世界：マチカネゼミで学ぶ教養と思考術
エレクトロニクスの世界	化学が拓く新たな科学	メカトロニクス入門 B	分子を操る新たな科学	映える科学ー科学教材を作ろうー	光とエレクトロニクスが拓く科学と技術	新しいビジネスを創ろう！	口腔機能障害の基礎と臨床研究について
量子力学の不思議な世界 (～磁石・超伝導・超高压の世界～)	化学工学への招待	制御情報システム入門	非線形力学入門	ナノテクノロジー最前線	確率統計の考え方を学ぼう	半導体の世界を体験しよう	
触媒化学への招待	数値流体力学入門	グラフ理論入門～四色定理・美術館定理・結婚定理～	対話の中の知能	生体インタラクション入門	手を動かして学ぶ統計学	最良の決め方と求め方を考える	
情報システムデータ処理	熱伝導方程式から Keller-Segel 系へ：非線形移流拡散方程式の解の探索	発生物学からみた生命科学	計算機プログラミング入門	生成 AI と学ぶプログラミング入門	生成 AI と学ぶプログラミング入門	生物化学工学への招待	
ランダム化アルゴリズム入門	情報システム基盤	科学を広報する - 学術研究機関として我々は何を求められているのか -	放射線の安全と不安	組織免疫生物学入門	ミトコンドリア科学	科学的認識論から見たデータサイエンス	
生物物理学へのいざない	細胞発見物語	バイオナノテクノロジー入門	光るタンパク質が拓く未来社会	がん研究入門	バイオインフォマティクス入門	脳と意識	
脳神経科学入門	ミステリアス細胞生物学	遺伝子・ゲノムの話	リチウムイオン電池の基礎と未来技術	最先端産業の基盤となる新規機能性材料	血管と疾患の科学	子どものこころの発達を科学的視点から考える	
ワクチンを創る	機能を獲得した無機ナノマテリアル：基礎と応用	レーザー科学への招待	文化をみる科学のレンズ	計算で読み解く生命	物理シミュレーション入門	疑似科学を科学する	
量子ビームがつなぐ科学と社会	データサイエンス・パターン認識入門	福島環境放射線を考える	プログラミングで選る科学史	量子のエネルギー	身近にひそむタンパク質の世界	配列情報解析入門 (DNAを学び、予測し、進化させる)	
自然に学び活用するものづくり	ものづくりサイエンス「強くて軽い新聞紙橋を設計しよう」	実践！知能ロボットシステム入門	みえないものをみる工夫	行動から探る生き物のみかた：動物ドキュメンタリーで考える	ものづくりサイエンス「多言語で学ぶグローバルものづくり」	生体膜生物学の基礎と応用	
「食べる」の科学	博物館・公文書館への誘い	多文化コミュニケーションセミナーⅠー異文化理解へのアプローチ	シルクロードを読み解く	総合知入門	特殊対論から量子色力学まで	半導体スピントロニクス	
ものづくりサイエンス「3次元プリンタを用いたものづくり：遠くまで多量に飛ばす散水ポンプのノズルの設計と製造」	多文化コミュニケーションセミナーⅠー街の公共サインを考えるー	現代社会における情報とメディア	健康とスポーツを科学する	はじめてのハワイ	多文化コミュニケーションセミナーⅠー世界の成り立ち、日本の成り立ち 1ー	タンパク質から細胞へ	
フェムト世界の不思議：原子核とその内部	メタバースにおける地域課題の学習環境設計	身の回りの放射線の科学	文理をつなぐ視点ー科学技術と社会の未来を考えるー	大学教員ってどんな仕事？	Discovery Seminar: はじめてのリサーチ	ものづくりサイエンス「多次元プリンタを用いた複元と補修：歴史的遺物から先端産業部品まで」	
ピア・サポート入門	ビブリオバトル入門	人工知能	データサイエンス	かけひきの科学	行動経済学の使い方	社会の中のデータサイエンス：データ基盤・AI技術・社会課題	
ものづくり & ロボコン初級		ロボティクスとデータサイエンス	日本とグローバルサウスの関係を考える		「炎上」に学ぶ ELSI	データを基に世界を読み解く	
						新学術領域の創成と革新的イノベーション	

※同一サブタイトルでクラスが異なるものがあります。また、サブタイトル等に変更が生じる可能性がありますので、必ずシラバスで最新の情報を確認してください。

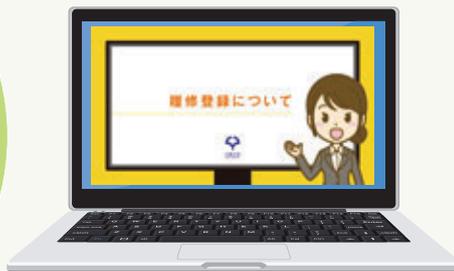
文系は理系を  
理系は文系を  
自身の専門  
以外の  
扉を開こう!





冊子

確認  
しまし  
よう  
どち  
らも



ホームページ

<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/fresher/>



- 全学共通教育科目の詳細とその履修方法および履修手続き等については、必ず『履修の手引』を確認してください。
- 併せて、上記 URL からそれぞれの学部のページにアクセスし、時間割と各科目のシラバス（授業計画）を確認してください。